

種別別明細書(増加資産・全資産用)の記載例

申告の年度を記載してください。

1. 該当資産の名称等を資産の種類順に記載してください。
2. 楷書でハッキリと記載してください。

国庫補助金等で取得した資産で、取得価額の圧縮をしたものについては、申告書作成の際、圧縮前の取得価額を記載してください。

所有者名を記載してください。

3枚のうち、2枚目というようにページ数を記載してください。

令和 6 年度 ※所有者コード										種別別明細書(増加資産・全資産用)				所有者名 株式会社 嘉手納工業			26号様式別表一(用)	
行番号	資産の種類	資産のコード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (円)	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	概要		
					年号	年	月					率	コード					
01	2		コンプレッサー	2	5	5	2	780,000	3					①2 3・4	1枚のうち 1枚目 附則15条33の特例			
02	2		溶接ロボット	1	5	5	3	3,500,000	15					①2 3・4				
03	6		パソコン	1	4	30	6	258,200	4					③4 1・2	R5.7 〇〇市から 申告漏れ 資産			
04	6		クーラー	1	5	3	4	330,500	6					1・2 3・4				
05														1・2 3・4				
06														1・2 3・4				
07														1・2 3・4				
08														1・2 3・4				
09														1・2 3・4				
10														1・2 3・4				
11														1・2 3・4				
12														1・2 3・4				
13														1・2 3・4				
14														1・2 3・4				
15														1・2 3・4				
16														1・2 3・4				
17														1・2 3・4				
18														1・2 3・4				
19														1・2 3・4				
20			小計	5				4,868,700						1・2 3・4				

グレーの部分は記載の必要はありません。

- 数字で記載してください。
- 構築物 → 1
- 機械装置 → 2
- 船舶 → 3
- 航空機 → 4
- 車両・運搬具 → 5
- 工具・器具・備品 → 6

資産を購入・制作した年月を記載してください。
※ 年号は数字で記載してください。

「昭和」 → 3
「平成」 → 4
「令和」 → 5

※1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得月としてください。

耐用年数表に定める耐用年数を記載してください。

- 中古資産等を取得し、税務会計上見積耐用年数の場合は、その見積耐用年数
- 短縮耐用年数の場合はその耐用年数

電子申告以外の方は、グレーの部分の記載の必要はありません。

ページごとに取得価額の合計額を記載してください。

該当する増加事由の番号を○で囲んでください。

新品取得 → 1
中古品取得 → 2
移動による受入れ → 3
その他 → 4

概要欄には、次のような事項を記載してください。

- 非課税または課税標準の特例の適用がある資産について、その適用内容
- 他の市町村からの移動等により受け入れた資産について、移動年月

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。